

私たちが、**超**えるもの。

紙はオワコン、  
という固定観念。



情報を伝える手段が、  
どんどん変わってきている。  
「もう、紙はいいよ」  
そういう声も少くない。

本当にそうだろうか？  
紙の可能性は、まだまだあるのでは  
ないだろうか。  
デジタルの時代だからこそ、  
必要とされるものがあるはずだ。  
自分は技術で印刷を、超える。

## ものづくりを 突き詰めたい

プレス部オフ輪課オフ輪3係

**中川 祐太**さん





私たちが、**超**えるもの。

**お客さまからの  
期待。**

AIがイラストを描く時代。  
クリエイターが不要になる可能性も  
言われているが、それはそれ。

お客さまが望むものはできても、  
お客さまも思いつかない感動を  
生み出すことなんて、  
AIにできるのだろうか。

私は創造で印刷を、超える。

## イラストスキルを もっと高めたい

情報・コミュニケーション企画部  
デザインユニット 本社デザイン係

吉村 七海さん



私たちが、**超**えるもの。

サンメッセの  
可能性。

お客さまの期待に応えたい。  
そのためにできることを拡げてきて、  
今のサンメッセがある。

世の中が大きく変わっていく中、  
お客さまの課題も変化している。  
私たちももっと耳を傾け、  
できることを拡げていかななくては。

私たちは対話で印刷を、超える。

明るく、楽しく、  
元気よく！

本社営業部営業第一課営業係

**長野 有紗**さん

もっとお客さまから  
頼りにされたい

本社営業部営業第一課営業係 主任

**樋口 雄基**さん



私たちは、超えてきた。  
アナログから、デジタル。  
平面から、立体。  
大垣から、世界。  
きっと、これからも超えられる。



# 印刷を、





# 超える。

今から30余年前、当社は会社の屋号から「印刷」という文字を廃し、サンメッセ株式会社として新たな歴史を歩み出しました。

それは自分たちがただの印刷会社ではなく、情報加工のプロフェッショナルになる、という当時の経営者、そして社員の強い決意の表れでした。

そして、90周年を目前にした今。

私たちは100周年という大きな節目を明るく迎えるために、もう一度、大きな壁を超えなくてはなりません。

コミュニケーションがより複雑化した時代において、メディアにとらわれないことの重要性がかつてないほど高まっています。

当社の先人がめざした方向に時代は動いています。  
今こそ、超える時です。

